船舶事故等調査報告書

平成２５年９月２６日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	２０１２函第８０号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成２４年１２月６日（木）　０７時４８分ごろ
発生場所	北海道小樽市小樽港第１区勝納（かつない）ふ頭勝納１号岸壁 小樽港島堤灯台から真方位１８０°１,０８０m付近 （概位　北緯４３°１１.３′　東経１４１°０１.５′）
事故等調査の経過	平成２４年１２月１０日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客フェリー　ゆうかり、１８,２２９トン １３５３４４、新日本海フェリー株式会社（以下「Ａ社」という。）
乗組員等に関する情報	船長、一級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船　右舷船首外板に破口、凹損及び擦過傷 岸壁　ビット上部及び車止めに擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか２５人が乗り組み、低気圧が接近し、海上荒天の予想により、次航便が欠航となったので、小樽港第１区勝納ふ頭勝納４号岸壁から同１号岸壁（以下「本件岸壁」という。）にシフトすることとした。 本船は、風速約１２m/s の東南東風が吹く状況下、船首約５.４５m、船尾約６.６０mの喫水で入船右舷着けするため、本件岸壁に接近したところ、風速約１６m/s の東北東風を受けて右舷側に圧流された。 船長は、スラスターを左舷一杯としたが、平成２４年１２月６日０７時４８分ごろ右舷船首外板が本件岸壁のビットに衝突した。
気象・海象	気象：天気　曇り、風向　東南東～東北東、風速　約１２～１６m/s、視界　良好 海象：波高　約１m 小樽市に風雪、雷、波浪、着雪注意報が発表され、また、札幌管区気象台による「暴風雪と高波に関する北海道地方気象情報」が発表されていた。
その他の事項	Ａ社の運航基準では、出入港時の平均風速が１５m/s を超える場合、えい船１隻を手配するように定められていた。
分析	
乗組員等の関与	あり

船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり 本船は、小樽港第１区において、低気圧が接近し、暴風雪と高波に関する北海道地方気象情報が発表されている状況下、本件岸壁に着岸作業中、風速約１６m/s の東北東風に圧流されたことから、本件岸壁のビットに衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、小樽港第１区において、低気圧が接近し、暴風雪と高波に関する北海道地方気象情報が発表されている状況下、本件岸壁に着岸作業中、風速約１６m/s の東北東風に圧流されたため、本件岸壁のビットに衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・運航基準の範囲内であっても強風が予想される場合は、えい船を使用することが望ましい。